

平成26年9月 NO.19

発行：三重耳鼻咽喉科 荏司邦夫・坂井田麻祐子

津市観音寺町 445-15

Tel:059-228-0100 Fax:059-228-0133

ホームページ：<http://www.miejibika.com/>携帯サイト：<http://www.miejibika.com/i/>

<スギ花粉症の新しい治療法：舌下免疫療法>

秋に入り、少し涼しくなってきました。今年は、9月に入ってから、イネ科の花粉症状で来院される患者さんが多くありました。ちょうど、スギ花粉の時期と同じような症状、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみでお困りの方が多かったです。

イネ科の花粉は夏と秋に主に飛散しますが、雑草ですので、それほど長期間続かず、花粉もあまり遠くには飛びません。やはり怖いのは、スギ花粉やヒノキ花粉といった、樹木からの大量飛散です。

今年から、スギ花粉症の方々に、新たな治療法が始まります。「舌下免疫療法（ぜっかめんえきりょうほう）」と呼びます。スギのエキスを、毎日舌の下へ垂らし、口の粘膜から吸収させます。2週間かけて少しずつ量を増やし、その後同じ量のエキスを約3~5年服用し続けます。吸収されたスギのエキスは、体に入り、体はスギに対して抗体を作ります。そうすることで、今度鼻から入ったスギ花粉に対して抗体が働き、アレルギー反応を起こしにくくなる、という仕組みです。これまで、同じ原理の治療法として、「減感作療法」とか「アレルギー免疫療法」と呼ばれる治療法がありました。これらは、皮下注射により、スギのエキスを体内に入れ、スギに反応しにくくする治療法です。昔から行われており、受けら

れた事がある方も多いと思います。

注射による免疫療法は、効果は比較的高いと言われていますが、①始めは1週間に1回の通院が必要、②注射により痛みがある、③過敏反応として、喘息やアナフィラキシーショックといった重篤な症状が起こる可能性がある、などの理由で、あまり一般的に行われていませんでした。

一方、今回スタートする舌下免疫療法は、①通院は2週間に1回、②自宅で薬剤を投与、③痛みがない、④過敏反応が注射と比べて起こりにくい、という点で、お試し頂きやすいかと思います。

これらの免疫療法は、症状が出たら内服薬や点鼻薬を使用するといった、従来の対症療法とは異なり、スギ花粉症状が出始める前からスタートし、スギ花粉の時期も、そうでない時期も、毎日ずっと続けなければ効果が出ません。また、3年から5年ほど継続しなければならず、治療効果もすべての人に現れるわけではないと言われてしています。つまり、効果が出るかどうかはやってみないと分からない、結果は何年か経ってからしか分からない、という治療法です。ただ、お薬による対症療法に比べ、長期間効果が持続する可能性があり、花粉の時期に比較的症状が軽く済む、お薬を併用するとしても、少なくとも済むというメリットはあります。

具体的に、治療の内容をご説明いたします。

まず、この治療が受けられる方は、

- ① スギ花粉症の方（血液検査で確定診断が必要です）
- ② 3年以上の間、毎日スギエキスを服用出来る方
- ③ 少なくとも2週間に1回の受診が可能な方
- ④ 12歳以上の方

逆に、受けて頂けない方は、

- ① 重い気管支喘息の方
- ② 悪性腫瘍（がん）や免疫系の病気がある方

*** お薬の使い方 ***

- ① 1日1回、スギのエキス（シダトレンという名前です）を舌の下に垂らし、2分間置いておいた後、飲み込みます。その後、5分間はうがい・飲食を控えましょう。
- ② 1回目の投与は、院内で行います。副反応が出ないかどうかを確かめるため、30分は病院内で過ごして頂きます。
- ③ 始めの2週間は「増量期」、飲み込むスギのエキスを少しずつ増やしていく期間です。ここまでの治療は、スギの花粉が飛んでいない期間に実施します。
- ④ 2週間以降は、約3年以上にわたり、毎日同じ量のスギのエキスを飲んでいきます（「維持期」といいます）。
- ⑤ 2週間に1回、お薬をもらいに来られる際に、診察を行います（2017年10月以降は、1ヶ月に1回の診察で大丈夫です）。

*** お薬の副反応 ***

- ・ 口内炎
- ・ 舌の下の腫れ
- ・ 口の中の腫れ
- ・ のどのかゆみ
- ・ 耳のかゆみ
- ・ 頭痛
- ・ 重篤：アナフィラキシーショック（急に血圧が下がる、蕁麻疹、腹痛、息苦しさなど）

これらの副反応は、

お薬服用後30分以内
治療開始から1ヶ月以内
スギ花粉飛散時期

に起こりやすいです。症状が出たら、すぐに受診をしてください。

それ以外の注意事項として、

- ・ 服用前後2時間は、激しい運動、アルコール摂取、入浴などを避ける
- ・ 誤って多く服用したら直ちに吐き出し、うがいをする
- ・ 症状がよくなっても途中で中断しない
- ・ 他の医療機関でお薬が処方されたときは報告する

このようなかんじで、舌下免疫療法は、長期間続ける覚悟と、日々の生活上の注意が必要で、気軽には取り組みにくい治療法ではありますが、「スギ花粉症」という体質を克服する根治的な治療法です。これまでの対症療法では十分な効果が得られなかった方や、なるべくお薬を使いたくない方など、ご希望のある方は一度ご相談ください。

スギのエキス「シダトレン」は、10月8日発売の予定です。

今年からの治療開始をご希望の方は、「増量期」をスギ飛散開始までに終了しなければならないため、12月15日までに治療が開始できるように、なるべく早めにご相談ください。来年以降は、スギ花粉飛散終了後より、順次開始いたします。